

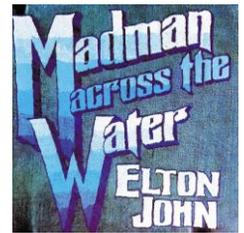
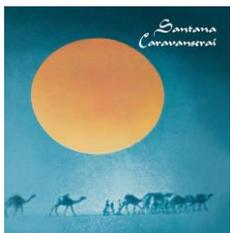
人は17歳の頃聴いた音楽を聞き続けるという SACDで聴く、青春のRock

17歳の頃に聴いた音楽が、人々にとって一生忘れられないものとなる理由が研究されています。イギリス・ダラム大学の音楽部に所属する研究チームは、大人が若い頃に聴いた曲を好むのは、その音楽が当時のポジティブな記憶と絡み合っているからだと発表しています。

この現象は「思春期の曲」として知られており、14歳ごろに聴いた音楽が最も強く記憶に残ることが示されています。思春期の曲は、いつまでたっても親しみやすく、懐かしい気持ちを引き起こす効果があるようです。また、40歳以上の人々は、思春期の曲を好みの程度においても高く評価していることが分かっています。

したがって、17歳の頃に聴いた音楽は、人々にとって特別な意味を持ち、一生を通じて心に残るものとなるのでしょう。

最近、当時の音楽を高品質で聴きたいと思いLPやCDを持っているのにもかかわらず、SACDを購入しました。今日はそれを紹介します。



1. Eternal Caravan of Reincarnation (1-4:29)

Santana (1966–present)

Caravanserai (4th 1972)**2. Crossroads (12-4:15)**

Cream (1966-1968)

Wheels of Fire (3rd 1968)**3. Your Song (1-4:01)**

Elton John (1947-)

Elton John (2nd 1970)**4. Albert's Shuffle (1-6:53)**

Al Kooper & Mike Bloomfield (1944- & 1943-1981)

Supersession (1st 1968)**5. Madman Across The Water (4-5:57)**

Elton John (1947-)

Madman Across The Water (4th 1971)**6. Hot 'Lanta (4-5:20)**

The Allman Brothers band (1969-1976)

At Filmore East (3rd 1971)**7. Throw Down the Sword (7-5:54)**

Wishbone Ash (1969–present)

Argus (3rd 1972)**8. Taboo (3-5:35)**

Santana (1966–present)

Santana III (3rd 1971)